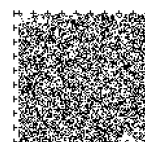


市橋委員提出資料



1. 全体として

* 会議日程が少ないのではなか。

深めたい課題が沢山ある。

* 障害者団体の意見、要求が反映出来ない

・ 7月31日に障害者団体連絡協議会開きます。沢山の意見、要求が出されると思う。

・ 障害者施策推進協議会の提言案が出来たら、障害者団体の意見、要求を聞く機会を設けるべきです。

2. 国も国連の勧告の趣旨を踏まえるよう、としている

・ 医学モデルとして給付でなく、生活モデルとして給付を

東京都の医療費助成制度や福祉手当を「生活モデル」としての給付を考えるべきです。

3. 放課後デイサービスやグループホームの株式会社導入が増えている。儲け第一でなく、サービスの質も考え、お母さん方や地域の運動で作り上げた事業所が育つように、制度を作っていかなければならない。

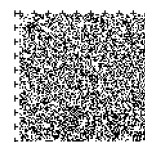
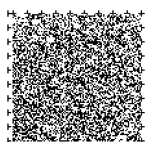
4. 人材不足は、深刻な問題である。来年度の報酬制度改定に向けて、大幅に賃金値上げ出来るように国に要求すべきです。そして、東京都も福祉職員に対する賃金保障、身分保障の独自制度を設けるべきです。

5. この間のコロナ禍の教訓を出し、討議を深め、対策を出すべきです。感染症を始め、新たな問題が起こる可能性があります。コロナの当面の問題も対策を出すべきです。

6. 地域移行問題は、数字だけを追うことなく、まず、障害別、希望施設別に入所待機者数を明確にすべきです。そして、その対策を優先的にたてるべきです。都外施設の問題、グループホームに期限化が導入されようとしている問題などを合わせて考えるべきです。

7. 障害者が介護保険に移行させられるいわゆる「65歳問題」についても、高齢障害者の生活と権利を守る立場から討議を深めたい。

6. 防災対策については、当事者団体も参加した「要援護者対策会議」(仮)を結成し、総合的に検討しなければなりません。当面、当推進協議会では、個別避難支援計画作成推進を具体的に提起すべきです。



第10期東京都障害者施策推進協議会への意見

第1回専門部会（7月25日）に対して（追加）

市橋博

I. 専門部会で論議する論点を事前に示してください。事前に送られた資料はデータばかりで、第1回のテーマ「地域におけるサービス等提供体制について」について、どう評価して、東京都としてどのような施策を考えていて、どこを専門部会委員に議論してほしいのか、事前に示してもらわないと、テーマが大きく資料も膨大で、議論の柱が見えません。私は、団体の会長として出席しているので、可能な限り、役員・会員の意見などを聞き、出席したいと考えます。

II. 今回のテーマと資料は、サービス提供の量的な到達点です。重要なのは、サービスの質の問題であり、株式会社等営利法人が運営主体となっている事業所に限らず、現在のサービスの質の問題を、東京都としてどのように考え、どう評価しているのか、それを示してください。また、サービスの質を向上するために、今後東京都がどのような施策を推進していくのが重要であり、その方策について部会で討議してください。

III. 施策目標のVで示されているように、「サービスを担う人材の養成・確保」がポイントですが、「確保・定着」という点で、どうだったのか、という評価も必要ではないでしょうか。都内の事業所の人材確保の状況について把握し、どのような課題を抱えているのか、それに対して、東京都としてどういう施策を考えているのか、そこが重要だと考えます。

IV. 現在、各区市町村も「障害福祉計画」「障害児福祉計画」の策定作業を進めていると思います。各区市町村が実態調査などを行っているはずですが、東京都がその調査結果を集約して、共通する課題を見だし、東京都として施策を展開するべきと考えます。

